



# 新年のごあいさつ



## 「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」を目指して

丸亀市長 梶 正治

新年明けましておめでとうございます。

皆さま方には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、丸亀市では市民一人ひとりが力強い未来を描けるように、平成30年度からスタートいたします、新たな総合計画の策定を進めています。また、行政改革推進計画の見直しにも取り組んでおり、新年度は行政サービスの更なる向上を目指した新たな挑戦が始まる年でもあります。

本市人口の将来展望によりますと、現在の約11万人から今後緩やかに減少していくことが予想されており、これに伴う地域力の低下や地域経済の減退により行政サービスの低下など、様々な影響が懸念されております。

丸亀市ではこの課題に対応するため、「丸亀市人口ビジョン・丸亀市未来を築く総合戦略」を策定しています。この計画では「丸亀でもう1人子どもを育てたくなる」「大人になって丸亀に帰って来る」「キラリと光る丸亀の魅力発信」「全市民が全市民を助け合う丸亀型安心地域づくり」の4つを、リーディングプロジェクトとして挙げ、人口減少の影響を最小限にとどめるべく、全力を傾けて取り組んでおります。

この政策の柱の1つとなっているのが、「働く環境の充実」「地域産業の活性化」でございます。本市では、「丸亀市産業振興条例」の基本方針を踏まえ、産業振興を総合的かつ計画的に推進するために、平成30年度からスタートいたします新たな産業振興計画の策定を進めています。

様々な課題の中で、人材の確保、育成は急務で

あることから、女性や高齢者を含め、あらゆる世代が活躍できる環境づくりを図るとともに、企業間・産学官金等の多様な連携機会の創出や、企業の経営・技術革新による新たな事業展開の支援にも努めてまいります。

また、地域の魅力発信の強化も重要課題でございます。本市では、丸亀うちわの市場拡大に向けて、2020年東京オリンピック・パラリンピック等の機会を最大限に活かし、丸亀うちわの魅力を伝え、インバウンド向けのPRや海外も含めた販路拡大に努めます。

さらに、新たに国の地方創生推進交付金を活用した地域商社事業により農産品、工芸品などの地域に眠る魅力ある産品やサービスの販路を、生産者に代わって開拓するなどの丸亀ブランド戦略をさらに推し進め「ふるさと丸亀」の魅力を広く発信してまいります。

昨年は、丸亀城天守の入場者数が一昨年をさらに上回り、過去最高の12万人を記録するなど、引き続き観光ブーム・お城ブームとなっておりますことから、本市をPRするための絶好の機会ととらえ、丸亀ならではの「おもてなし」を積極的に行ってまいりたいと存じます。

本年も引き続き、市民のみなさんと共に「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」を目指して全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご理解、ご協力をお願いいたしますとともに、本年の皆さま方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



議員

参与

佐藤 今池 池元 小中 矢荒 高佐 岩杉 岡三 伏浜 神岩 大角 小遠 越岩 七岡 石篠 久中 仁植 山宮 友  
藤井 田田 木林 野野 木岡 藤崎 山部 宅見 本原 西野 林山 智井 條田 橋井 文峰 泰敏 眞昌  
邦牧 孝洋 一健 昌秀 大泰 典正 尚洋 清恵 巧美 志勝 忠一 良文 峰泰 敏眞 昌  
明夫 道一郎 治典 一仁 治光 統明 純豊 之悟 幸勉 太一 弘夫 英俊 郎徳 衛年 清志 弘吾 誠人

山崎 吉田 山西 徳永 張北 大山 山崎 向谷 竹輪 田岡 菅山 前岡 大岡 久保 角野 山田 福田 竹中 河田 有木 山地 真室 出村 辻岡 片岡 野口 川田 廣瀬 空井 藤井 横井 馬場  
純一 曉和 嘉嘉 芳良 健充 洋佳 信剛 貴時 洋浩 浩太 彰公 修眞 英隆 健敏 秀隆 将  
一夫 明誠 豊樹 幸典 一寛 史司 弘裕 夫司 彦達 子努 郎浩 浩司 郎彦 志二 嗣樹 海司 子憲 一嘉

当所では、会員数の増強に努めています。  
お知り合いでまだ商工会議所の会員になっていない方がございましたら、ぜひご紹介ください。